

大学院入学試験問題用紙

2026年度一般入試

科目名	受験専攻	受験番号	氏名
農業経営学	国際アグリビジネス学専攻 博士前期課程		

(1)

出典：大貫一貫ほか7名（2024）「農業経営」文部科学省検定済み教科書，高等学校農業科用7実教農業
Source: Kent Olson and JohnWestra (2022) The Economic of Farm Management A Global Perspective, Routledge Text Books in Environmental and Agricultural Economics, Second Edition, Routledge.

(2) PESTEL 分析についてその要因と用語の意味を説明し、どのような環境の分析に適しているか説明しなさい。

Define the components and meanings of PESTEL analysis and explain the situation in which PESTEL analysis can function.

(3) 日本の食料自給率は停滞しており、輸入農産物に依拠する傾向が強い。日本の主な輸入農産物と、自給率回復に向けた国内の取り組みについて述べよ。

Japan's self-sufficiency ratio has been stagnant for many years, resulting to the country's high reliance on imported agricultural products. Explain the trend of major imported agricultural products and domestic initiatives for recovering self-sufficiency ratio in Japan.

(4) みどりの食料システム戦略について、そのなかで設定されている環境保全のなかでも特に有機農業に関連する政府の目標値について説明しなさい。

Regarding Strategy for Sustainable Food Systems (MIDORI) in Japan, explain the government targets for environmental conservation, especially from the point of view in organic agriculture.

1~4 出題意図

国内外のアグリビジネスに対する基礎知識を有しているかを確認するとともに、博士前期課程進学者にもとめられる論理的思考力、論述力を総合的に判定するために出題した。

大学院入学試験問題用紙

2025 年度 2 期

科目名	受験専攻	受験番号	氏名
農業経営組織論	国際アグリビジネス学専攻 博士前期課程		

1. 組織の中で発揮される取引・双方向型リーダーシップの例を一つ挙げ、その特徴について説明せよ。

【解答例】

組織の中で発揮される取引・双方型リーダーシップの例としては、TFL (Transformational Leadership) がある。TFL は、①ビジョンの提示 (明確なビジョンを提示し、組織の方向性を示す)、②動機づけ (メンバーの感情に訴えかけ、ビジョンへの共感を促す)、③知的な刺激 (メンバーが既成概念にとらわれず、新しい発想をすることを奨励する)、④個別的配慮 (メンバー一人ひとりの成長に焦点を当て、コーチやメンターとして関わる) の 4 つの特徴を持っており、TFL が発揮されることによって、組織成果の向上やメンバーの成長、エンゲージメント (組織コミットメント) の向上などの効果が期待される。

2. 昨今の水田農業において、組織化が目指されている理由について述べよ。なお、その際に、①近年の水田農業を取りまく担い手の状況、②水田農業を組織化することのメリットに必ず言及すること。

【解答例】

多数の小規模農家で構成されていることの水田農業においては、地域維持の営農維持のため集落営農のような形での組織化が目指されることが多い。その主な理由は、昨今の小規模農家を取りまく状況、すなわち小規模農家の高齢化や担い手不足が背景にある。高齢化によって管理が出来なくなる農地が集落の中に現れると、水田の水管理が難しくなり草刈の不徹底などの問題が生じやすく、地域の水田営農全体に悪影響を及ぼす。そのため、集落単位などで水田経営を組織化し、大型機械を導入するなどして、少数のオペレータで営農が遂行できるようになると、コスト低減や水田農業の持続性が担保できるなどのメリットがある。

3. 野菜作の産地化と農業法人組織の役割について論ぜよ。

【解答例】

これまでの野菜作は、市場を介した大量流通システムの構築と、その合理化のため形作られてきた農産物規格により、均質的な大ロット供給が可能な大型産地を形成しながら発展してきたといえる。そうした中で、農業法人組織は、品質の高い大規模な野菜供給に欠かせない存在となっており、近年ではマッピングシステムと連携した自動操舵トラクターや可変施肥・防除、環境制御ハウスによる栽培などといったスマート農業を駆使する生産主体としても大きな役割を担っている。また、農業法人は、一定の信用力を有することから人材雇用にも有利で、雇用就農の受け皿としての役割も担っている。

4. 農地保全の観点から見た都市農業政策の問題点について論ぜよ。

【解答例】

市街化区域内の都市農業における農地保全のための施策としては、生産緑地制度がある。生産緑地制度は、1974 年に制定された「生産緑地法」に基づく制度であるが、1991 年の改正によって市街化区域内の農地を「宅地化すべき農地」と「保全すべき農地」に分ける選択が行われ、このうち「保全すべき農地」が生産緑地として 30 年間の期間で指定され、農地評価による固定資産税支払いと相続税の納税猶予の 2 本柱からなる税制優遇措置が設けられた。2022 年には、この指定解除時期が近づいたことから 2022 年問題と言われ、問題視されたが、大半の農地が 10 年間の新制度である特定生産緑地に移行することとなった。ただし、農業経営者の高齢化により営農継続が困難なケースなどでは、徐々に指定解除が進んでおり、都市農地の総量としての維持保全は引き続き困難な状況にある。

大学院入学試験問題用紙

2026 年度一般入試

科目名 Subject	受験専攻 Department	受験番号 Examinee No.	氏名 Name
農業経営管理論（情報研）	国際アグリビジネス学専攻 博士前期課程		

Please answer the following questions. 以下の各問に答えよ。

1. Briefly explain the current situation of organic agriculture around the world. (30 points)
世界の有機農業の現状について簡潔に説明しなさい。(30点)

2. Give two main challenges in organic agriculture around the world, and explain their respective solutions. (30 points) 世界の有機農業における主な課題を2つ挙げ、それらに対する具体的な解決策をそれぞれ説明しなさい。(30点)

3. Provide how can management informatics contribute to the development of organic agriculture around the world. (40 points) 経営情報学が、世界の有機農業の発展にどのように貢献できるか論じなさい。(40点)

1～3 出題意図

国外のアグリビジネス（特に有機農業）と経営情報学の関わりに対する基礎知識を有しているかを確認するとともに、博士前期課程進学者にもとめられる論理的思考力、論述力を総合的に判定するために出題した。

大学院入学試験問題用紙

2023 年度 1 期

科 目 名	受 験 専 攻	受 験 番 号	氏 名
農業経営戦略・マーケティング論	国際アグリビジネス学専攻 博士前期課程 (MS)		

次の設問に答えよ。Answer the following questions in Japanese or in English.

I. 次のの中からキーワードを3つ選び、簡単に説明せよ。Chose three from following keywords and describe them briefly.

Keywords :

1)Ansoff's product-market matrix, 2) Porter's 3 basic strategies, 3) Marketing positioning strategy,
4) M&A, 5) SWOT analysis, 6) STP, 7) 4P, 8) Product life cycle

II. 農業における経営戦略の重要性について議論せよ。

Discuss about importance of management strategy for agricultural sectors.

III. 食品製造業の経営におけるマーケティングの意義についてあなたの意見を述べよ。

Write your opinion on the significance of marketing in the management of the food manufacturing industry.

I-1 keyword:

回答例

7) 4P の場合

4P とは、マーケティング戦略を構築する上で重要な概念であり、マーケティングの重要な構成要素である、製品 (プロダクト、Product)、価格 (プライス、Price)、流通経路 (プレース、Place)、販売促進 (プロモーション、Promotion)、の4つの頭文字を取ったものである。

The 4Ps are a crucial concept in building marketing strategies and represent the four key components of marketing: Product, Price, Place (Distribution Channel), and Promotion.

I-2 keyword:

I-3 keyword:

II.

回答例

農業は天候や病虫害、市況など外部要因により左右されやすい。このため、長期的展望を持たずに経営を行ってきた傾向がある。しかし、農業も経営であるからには、外部環境や内部環境を分析した上で、長期的な展望の下で自らの発展の方向性を定めて、経営資源を最適に配分していくことが重要である。こうすることで、農業の持続性を高めることができる。

Agriculture is highly susceptible to external factors such as weather, pests and diseases, and market conditions. Consequently, there has been a tendency to manage operations without a long-term perspective. However, since agriculture is also a business, it is crucial to analyze both the external and internal environments, define the direction for its own development under a long-term outlook, and optimally allocate management resources. Doing so enhances the sustainability of agriculture.

III.

回答例

食品は非常に多岐にわたる製品があり、競争が激しい。一方で、消費者の志向は変化しやすい。経済社会環境も急速に変化している。このため、従来と同じような食品を製造・販売し続けるだけでは経営が成り立たなくなる場合が多い。そこで、市場の動向をしっかりと捉えて適切なマーケティング活動を行うことで、売れ続ける食品の製造・販売が可能となり、企業の継続・成長が可能となる。

The food industry encompasses a vast array of products and faces intense competition. Meanwhile, consumer preferences are highly volatile. The economic and social environment is also changing rapidly. Consequently, simply producing and selling the same foods as before often becomes unsustainable. Therefore, accurately grasping market trends and conducting appropriate marketing activities enables production and sale of consistently marketable foods, making corporate continuity and growth possible.